

住宅ローン

～融資客員について～



①

住宅ローンの
融資客員を
考えるときには、



から考えるのではなく、

から考えることが大切です!

融資を受ける金額が、無理なく返済できる金額なら問題ありませんが、希望額の融資が受けられた場合でもその金額を最後まで返済できる保証はありません。住宅ローンの融資客員を考えるときは、借りられる金額から考えるのではなく、返済できる金額から考えることが大切です。

② 住宅ローンの返済は、年収の25%

程度までは無理のない融資額といわれていますが、年収の30%を超えると家計のやりくりが難しくなります。特に高校や大学への教育への負担が住宅ローン返済で直撃することもある...



また住宅の維持にもかかるので、住宅ローンの返済負担率は、年収の30%以内に抑えるのが良いでしょう。